

神奈川大学史研究会開催報告

第三回

日時…二〇一八年二月二日（金）

十六時四〇分～十八時〇〇分

会場…横浜キャンパス一号館三〇八会議室

報告者…内海孝氏（東京外国語大学名誉教授、本

学非常勤講師）

報告…「横浜専門学校と横浜の政財界

— どのような距離感があったのか —」

開会・閉会挨拶…木内好信（神奈川大学資料編纂

室長）

司会進行…大坪潤子（神奈川大学資料編纂室）

参加者…二十名

〔概要〕神奈川大学の特色である給費生制度は、前身の横浜専門学校時代に始まる。報告ではこれを支えた奨学会の顧問各々やその関係性に光が当てられた。

社会全般や国際情勢まで含めた知見のもと、昭和初期の横浜政財界を代表する原家や渡辺家、三井・

三菱財閥など、実に錚々たる顔ぶれであること、林頼三郎校長の人脈も色濃いことなどが詳らかに述べられた。

また、原三溪市民研究会からも多数の参加があり、本学と原富太郎（三溪）との関係について、大いに関心が寄せられた。



第3回研究会

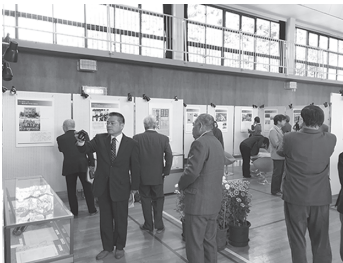
事業協力報告

○「米田吉盛展」および「米田吉盛展開展式」

展示期間…二〇一七年十一月十二日(日)～十九日(水)(内子東自治センター)、同十一月二十四日(金)～十二月六日(水)(内子町ビジターセンター)、二〇一八年二月一日(木)～二十八日(水)(内子町図書館・パネル展示)

〔概要〕 本学創立者・米田吉盛の出身地である愛媛県喜多郡内子町で開催された展示とその開展式への協力をした。同事業は内子町論田地区の自治会を中心とした米田吉盛氏企画展実行委員会の主催、内子町・内子町教育委員会の後援によるものである。二〇一七年度の開催にむけて、実行委員会では米田吉盛生誕地整備等が進められ、神奈川大学資料編纂室では二〇一五年度から実行委員会事務局と打合せを重ね、米田吉盛着用コート、横浜学院要則(複製)、箱根駅伝初優勝時の襷ほか約二〇件の資料貸出・展示作業等をおこなった。

展示初日の開展式では、本学理事長牧内良平が来賓



内子東自治センター会場



内子町ビジターセンター会場

として挨拶を述べたのち、前常務理事で百年史編纂委員会前委員長の法学部教授吉井蒼生夫が米田吉盛および展示資料について紹介をした。続く記念講演では日本常民文化研究所非文字資料研究センター長で百年史編纂委員の工学部教授内田青蔵が「内子と横浜の町並み——伝統を未来に繋げる町づくり」の題で演台に立った。

今後の神奈川大学と内子町との交流についても期待が寄せられる事業となった。